

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

岐阜県 岐南町

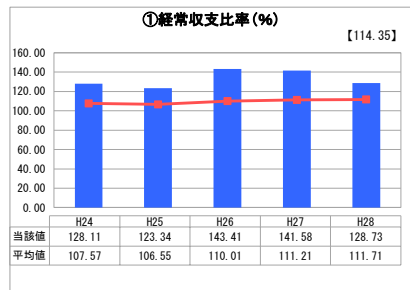
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	94.75	99.50	1,672	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
25,270	7.91	3,194.69
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
25,153	7.91	3,179.90

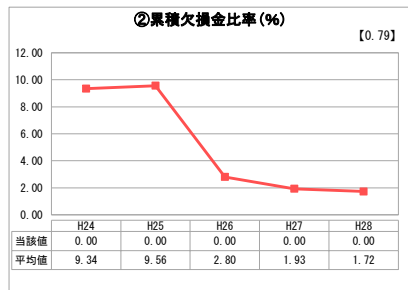
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

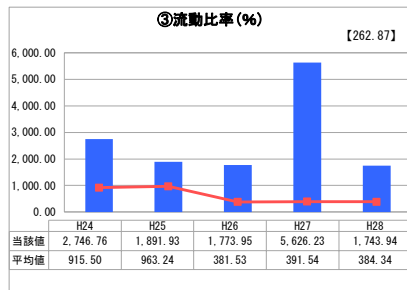
## 1. 経営の健全性・効率性



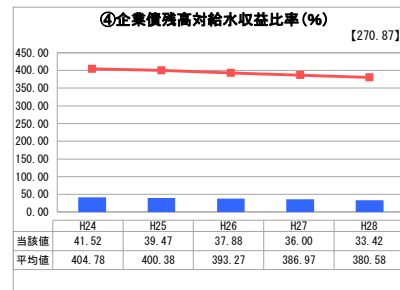
「経常損益」



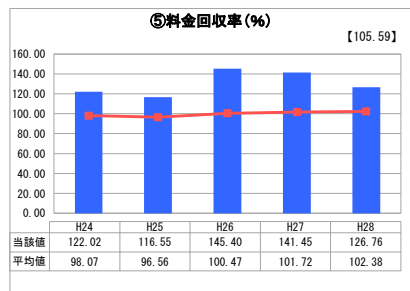
「累積欠損」



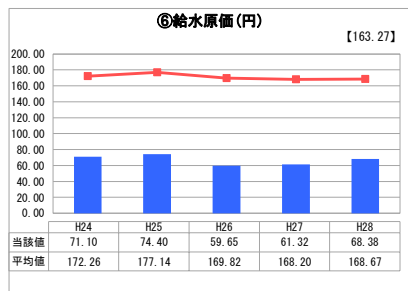
「支払能力」



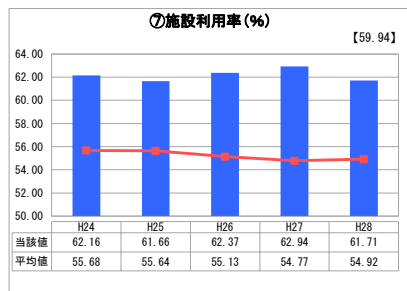
「債務残高」



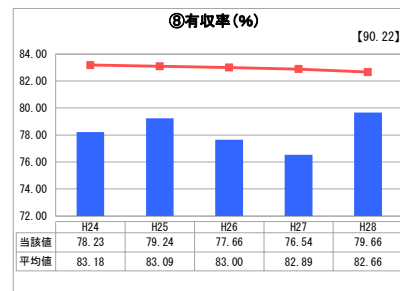
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

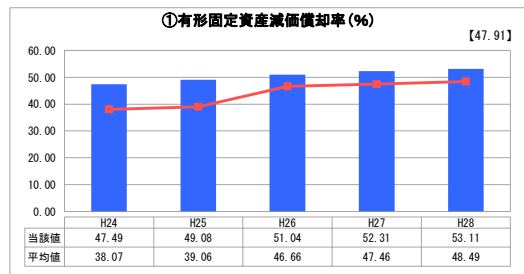


「施設の効率性」

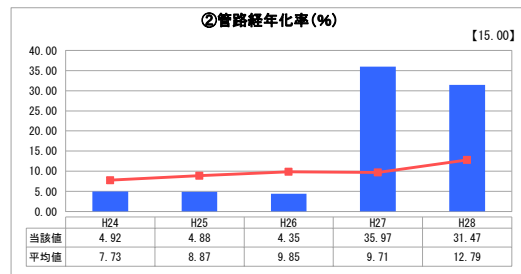


「供給した配水量の効率性」

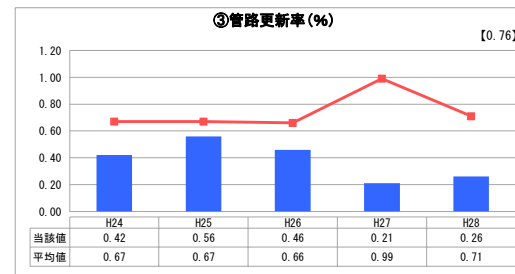
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は継続的に100%以上を保持しており、経営に必要な費用は料金収入で賄うことができています。また、給水収益に占める企業債残高割合は、平成14年度以降借り入れをしていないことから低い値となっており、料金回収率については高い水準を維持していることから、経営状況は比較的健全な状況にあるといえます。

経営の効率性については、当町はコンパクトな地形に人口が密集しているため水源地施設は3箇所と少なく、地下水にも恵まれていることにより浄水処理は塩素滅菌のみで提供することができるなど、施設面における費用は低く抑えられており、給水原価の安さの一因となっています。また、施設利用率も比較的高く平均値を上回っていることから、効率的に経営できているといえますが、有収率に着目すると低い値となっており、平成27年度から実施している漏水調査などの対策により改善の兆しが見られるものの、更なる有収率改善が課題となっています。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が増加傾向にあることや、管路経年化率が高い値を示していることや、法定耐用年数に近づいた又は超過した施設・管路を大量に有しています。一方、管路更新率は基幹管路の耐震化工事を優先的に行ったため、前年度より改善したものの平均値を下回っております。

※②平成27年度の管路経年化率が急激に伸びているのは、布袋年度が不明な管路を法定耐用年数を超過したものと一括計上しているため。

## 全体総括

収益性と財務の健全性は良好といえるが、老朽化した水源地施設や管路の更新需要を多く抱えており、計画的な施設更新に向けての取り組みが不可欠である。平成28年度に策定した水道ビジョンにおいては西水源地の更新時期を平成32年度を目標と定め、基幹管路の耐震化工事と併せて適切に実施できるような取り組みを進めます。

また、平成27年度から取り組んでいる漏水対策については、今後も継続して実施し有収率の改善を図れるよう漏水防止対策を進めます。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。